

2022年度 情報学部 小論文試験についての全体講評

1. 出題の意図

小論文試験は、本学のアドミッションポリシーに示される「幅広い教養と基礎学力を身に付けていること」や「情報技術のあり方について自ら思考し表現共有する力を有すること」を評価することを主たる目的として出題されています。実際の問題は情報通信技術（ICT）に関する文章を題材に文章の読解力、主に技術の適用に関する理解力および、理解し考えたことを適切に表現する力を問う問題から構成されています。また、「ていねい」に解答できること、すなわち指定の文字数を活用し、解答の読み手の存在も意識した過不足のない論述を構成する表現力が問われています。

2. 採点・評価のポイント

いずれの選抜区分においても、大問2問の出題でした。問題1では主に読解力と理解力が評価され、問題2では主に論理的な議論の展開に関する表現力が評価されます。問題ごとの評価のポイントは以下の通りです。

問題1

設問1は、文章で示されたICTに関する理解力についての問題です。理解したことを短い文章で過不足なく示すことが期待されます。題材となった文章で示されていることから、技術がどのように使われているのかを読解し、その理解に基づいて表現ができることが重要です。

設問2は、与えられた文章に示された技術の特性をどのように理解したのかなどの点について、設問文を通じて考え、その内容を自分自身の言葉で簡潔に表現することを求める問題です。設問で問われたことについて、例えば、具体例を示しその例に沿って回答することが求められています。

なお、問題1では一般的な知識に基づいた抽象的な回答や与えられた文章と無関係なICTの例を引き合いに出す回答などは適切ではありません。

問題2

問題2では、ICTに関する文章を読解し、設問で問われたことについて、自分の考えを適切に述べるのが求められています。つまり、考えのもとになった仮定とその仮定から帰結される結論へいたる論理的思考の過程を適切に述べる必要があります。思考の過程を確かなものとするための事実の提示、問の内容に応じて想定される適切な予測に加え、文章が取り上げているICT技術の特性の把握が求められています。

これらの考えを記述することにおいて、唯一の明らかな正解となる解答はありません。評価のポイントは、議論の明快さと展開の適切さです。設問に指定されている事柄から逸脱した議論や論理的でない表現は適当ではありません。

福知山公立大学入試委員会

2022年3月31日